

ゼロからわかる

『標準作業と改善の基礎知識』

ニューノーマルに直面する経営環境、また熾烈さを増すグローバル競争に立ち向かうべく、モノづくり企業においては様々な革新活動が一層重要になっていきます。その中で最も基盤となる「標準作業」については、その重要性が声高に叫ばれているにもかかわらず、実践的な教育の場が少ないのが実態です。

本プログラムの基本編ではeラーニングを使用し、標準作業の重要性を改善に用いる標準3票の持つ意味、作成方法を学ぶだけでなく、非常に重要な「目標設定の考え方」についても初心者でも理解しやすく詳しい解説をします。

実践編では、本研修用に開発した模擬ラインでの改善を「実」体験し、改善要領の基本を身に着け、標準作業の持つ「①造り方のルール・基準を明確にしたもの」「②改善の道具である」という本質を学ぶことで、“現場で使える”標準作業を「即」実践して頂くことをねらいとしています。

カリキュラム

e-learning



1 標準作業とは

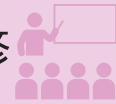
- ・ 製造業における標準作業の位置づけと意味
- ・ 標準作業の前提条件
- ・ 標準作業の3要素

2 標準三票

- ・ 製造タイプ別の標準作業
- ・ 標準三票とは

3 動作改善の着眼点

集合型実践研修



1 時間観測演習

2 改善目標設定の考え方

- ・ 各時間値データから考察するあるべき姿
- ・ 必要人工とは

3 グループディスカッション

- ・ 改善目標設定
- ・ 各工程の改善の戦略立案

4 改善トライ・効果の確認

e-learning 動画配信期間

2020
10 / 19 ~ 11 / 30

集合研修日

2020
11 / 19 木
10:00~16:00

集合研修会場

名古屋市内研修会場（予定）
詳細は受講票にてお知らせいたします

講師

中部産業連盟 マネジメント開発部担当部長
(兼) トヨタ生産方式研究会 主担当

松村 佳洋

製造業を中心に JIT を基本にした生産革新活動や人材育成に関するコンサルティングでプロジェクトマネジャーとして従事。コンサルティングに際し、導入期や中間で勉強会・講習の講師も務める。またトヨタ生産方式研究会推進事務局として正しいトヨタ生産方式の普及啓蒙にも携わる。

お申込みについて

中産連ウェブサイトよりお申込みください

▶ <http://www.chusanren.or.jp/diversity/03.html>

